



↑普通のナマコと比べるとその白さは歴然

★ご利益あるかも!? 白いナマコ発見

12月16日、道の駅黒之瀬戸だんだん市場に珍しい真っ白なマナマコが持ち込まれました。

通常ナマコは、岩礁にすむ赤色をした「赤ナマコ」と、砂泥底にすむ「青ナマコ」「黒ナマコ」と呼ばれます。時折、遺伝子の突然変異により色素が無い個体がうまることがあります。

今回持ち込まれた「白ナマコ」は、通常の個体と比べ非常に少ないため「縁起物」「幸せを呼ぶ」として喜ばれます。

同駅の尾道榮二代表取締役社長は「初めて目にした時は驚いた。ご利益があると嬉しい」と話しました。

★宝くじ助成金で防犯灯設置 地域を守る灯りであって

平成25年度宝くじ助成金により、各集落から要望のあった町内の25カ所に防犯灯が設置されました。

この取り組みは、住民らが自主的に行うコミュニティ活動の促進と、夜間の交通事故防止や犯罪を未然に防ぎ、地域の安心・安全を確保するためのものです。



↑上揚集落に設置された防犯灯

↓小雨の中、ベンチを設置する社協職員の久保さん



★社会福祉協議会が設置 共同募金還元でベンチを寄贈

12月19日、社会福祉協議会（早崎九州男会長）は、町内のバス停留所に待合用ベンチを寄贈し設置しました。

これは赤い羽根共同募金を還元し、配当金を地域に役立てようとする取り組みの一環です。

今回設置したのは、鷹巣診療所前や母良木公民館前、広野などで壊れていたベンチを交換したりするなど計10カ所に設置しました。

同協議会の前田穂事務局長は「町民みなさんの協力のたまもの。バスを待つときなど、ご利用いただきたい」と話しました。